

調査・研修等計画届出書

令和2年3月16日

瀬戸市議会議長 様

議員名 中川昌也



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和2年3月30日から3月30日まで（泊 日）	
調査先・研修名	役所を動かす質問の仕方（全国地方議会議員勉強会）	
会場名（会場所在地）	第一青山ビル	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	一般質問等において、質問等をした事が具現化されるような質問をするために、自分自身のスキルや能力などを鍛えて磨きをかけなければなりません。 そのため、今回の講演にて、行政評価データを活用した施策・質問・形成とは何か？等を勉強し具体的な質問力を磨くため。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名		

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和2年4月10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 中川昌也



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。
記

期 日	令和2年3月30日
調査先・研修名	役所を動かす質問の仕方・質問からはじまる政策形成のテクニック（全国地方議会議員勉強会 細川甚孝先生）
会場名（会場所在地）	東京で勉強会を受講する予定でしたが、3月27日に東京都が新型コロナウイルス感染防止の外出自粛要請を出されており、現地への出張は適切ではないと判断しました。 キャンセルも1週間前に締め切られており、主催者より動画配信していただけたとの事で、東京には出向かず、動画にて勉強しました。
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	一般質問等において、質問等をした事が具現化されるような質問をするために、自分自身のスキルや能力などを鍛えて磨きをかけなければなりません。 そのため、今回の講演にて、行政評価データを活用した施策・質問・形成とは何か？等を勉強し具体的な質問力を磨くため。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
・ いい議会質問・悪い議会質問のパターン いい議会質問→質問を通じて、執行部との環境について対話ができる →法律・条例。要綱のどこに課題があるのか？ →類似事例で見えてくる手法の有効性？ 悪い質問→何を考えるべきなのか明らかになっていない →自分の心情だけを述べる →質問を取り上げる理由が不明確 ・ いい議会質問のポイント→どのようなインプットがアウトプット/アウトカムを生んでいるのか ・ 質問作成のステップ→質問の要点、その理由、裏付け、今後の方向性を構成する	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

- ・インプット、アウトプット、アウトカムを明確に生むことが重要であること
- ・何が原因なのか（制度？市場？社会？）原因をできる限り数値でわかるように示す重要性について
- ・議会が議決した条例が条文通りに執行されているのか検証を行わなければならないこと
- ・質問作りの詳細な具体的進め方について学ぶことができた
- ・悪い質問例がより明確になりました。特に課題を放置した場合どんな事が引き起こされるのかが見えない質問はしない事。
- ・市民意識調査での満足度の把握をし、質問作りを行う事
- ・予算を多く投入すればより良い結果が生まれる確率は高くなるので、効率性をひもとかなければならないこと

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

- ・役所は惰性で事務事業を進めていくので、インプット→アウトプット→アウトカムがどこに反映するのかチェックしなければならない事の再認識を得ました。
- ・課題ツリーをたて、原因等を追究し、このまま課題を放置した場合どうなるのかを示すことが始まりである事の再認識。
- ・仮設ツリーをたて、アウトカム（課題解決後の将来、課題が解決された場合どうなるのか）を示す重要性を認識しました。
- ・行政評価データの確認が必要であるが、瀬戸市は事務事業評価シートが作成されておらず、チェックが難しいので、改めて事務事業評価シートの作成依頼をしなければならぬと感じた。
- ・3つの分析視点（経済性・有効性・効率性）を絡み合わせることで行政活動の全体の把握ができるようになることの再認識